

月刊

ポケットあわじ

発行日 2005年10月1日

VOL.4 1

ずーと残しておきたい

郷土芸能・伝統文化



堺（津名郡五色町）の秋祭り

地区の世帯主や、結婚・就職等により島外で暮す地元出身者の名前を書き入れた“ふる里帰り提灯”が神社に吊るされる。このアイデアで廃れかけていた祭りは息を吹き返した!

堺地区は、高齢化や若者の流出、小子化等で人口が減り続け、平成4年には小学校で複式学級を設置しなければならない状態になりました。それを阻止しようと、住民側から各種団体を中心に堺活性化委員会が主体的に組織され、町・島外からの児童を誘致する取り組みが始まりました。そして、町へ強力に要望を出し、ついに平成4年9月に町営住宅が着工することになりました。引っ越し祝い金を出したり、さまざまな優遇策を発表し、マスコミ等で宣伝募集しました。学童連れ家族の転入受け入れは全国的に珍しいもので、話題になりました。

そんな地域住民の真剣な取り組みが効を奏し、地域に若い活気がよみがえりました。そして、新旧住民と子どもたち同士のふれあいの場作り、コミュニケーションを図ることが次のテーマになり、活性化委員会は会合を重ねて、廃れかけた祭りを活性化することに。住民の切なる願いから次々にすばらしいアイデアが生まれ、それが一時的なものでなく長く持続するものになり、現在の繁栄へとつながったのです。

お祭りは10月の第4日曜日、前日の宵宮から楽しめます。

問合せは、五色町役場企画情報課まで。(0799-33-0161)



取材：応援隊 西岡真理子

南あわじ市 大久保踊り 八木ぎ



7/31 八木公民館 なりあい塾で踊られた大久保踊り
写真提供：南あわじ市秘書広報室

大久保踊り Q & A

Q. 大久保踊りはいつ頃から踊られているのですか？

A. 江戸時代中期から踊られています。昔は、盂蘭盆（うらぼん）に踊っていました。雨乞い祭にも踊られました。明治末期に中断していましたが、昭和の初め若者たちが復活させ今に至っています。

盂蘭盆：（陰暦）7月15日を中心に行われる仏教の行事。

Q. 大久保踊りはどんなところでみられますか？

A. 保存会では、11月6日（日）に洲本市文化体育館で開催の淡路伝統芸能祭で弓張・傘踊り・三階傘（さんがいがさ）を踊る予定です。例年、八木小学校では運動会で3・4年が髭奴、学習発表会で4年生が傘踊りと机踊りを踊ります。三原高校の3年生は、体育祭で机踊りと傘踊りを踊ります。今年は三原中学校の1年生も11月23日の文化祭で踊ります。ぜひ見に来てくださいね。



Q. 大久保踊り保存会のメンバーってどんな人たちですか？

A. 南あわじ市八木大久保地区の人達（20代から70代位）です。公会堂の横に大久保踊り練習場があって、発表の前にはみんな集まって、楽しく踊っています。大久保地区の人は、ほとんどみんな大久保踊りが踊れます。

Q. 大久保踊りの種類は？

A. 手踊りが5種類、道具踊りが6種類あります。

各種目ごとに衣裳や道具を取り替え、歌詞や太鼓の打ち方も変わります。主に浄瑠璃にちなんだものが多いのです。傘踊りでは、めいぼくかさねものがたりどばしのだん 薫樹累物語土橋の段を演じています。情緒豊かなものや勇壮闊達なものまであり、老若男女楽しめる踊りです。



大久保踊り保存会会長の出口さん〔写真〕が、八木小学校に大久保踊りの指導に行かれると聞いたので同行させていただきました。八木小の3・4年生は、棒のさきにポンポンのようなものがついた毛槍（！？）を持って暑い暑い体育館の中で一生けんめいに踊っていました。出口さんは、髭奴（ひげやっこ）の踊りの由来、毛槍の意味などを子どもたちにわかりやすく説明されていました。子どもたちは、学校で練習するだけでなく、八木小の卒業生（兄弟）に家で踊りを教えてもらったり、ビデオを見て練習したりしているようです。毎年、八木小の子どもたちの大久保踊りをみるのが地域のお年より楽しみだそうです。こんなに歴史のある踊りが今後もずうっと踊り継がれていけばいいですね。

取材：応援隊 川原雅代

五尺踊り保存会〔南あわじ市 広田〕



9/11(日)の淡路民謡祭で寺子屋を踊る保存会の皆さん



広田大宮寺の裏山には天明2年(1782年)に起こった淡路島最大の百姓一揆、縄騒動の首謀者として処刑された才蔵、清左衛門を祀る『天明志士の碑』があります。両士の命日、3月23日には祭祀を行い、踊りが奉納されてきました。その踊りが『五尺踊り』です。踊りは戦後しばらく途絶えていたそうですが、昭和52年に発足した『五尺踊り保存会』によって復活されました。現在、会で伝承されているのは、傘踊り、手踊り、寺子屋、土橋の4種類で、3月23日の祭祀以外に、淡路民謡祭などでも披露されています。

また、広田小学校郷土芸能部(5、6年生)が傘踊りを伝承していて、祭祀や淡路民謡祭に参加しています。さらに同小学校では毎年、運動会の種目のひとつに3、4年生の『五尺踊り』があります。こちらの踊りは学校でアレンジされたものらしいですが、太鼓と拍子木に合わせる節は同じものです。

歴史を知ること、取材後すぐの運動会では例年なんとなく眺めていた五尺踊りが感慨深いものとなりました。

取材：応援隊 栗林道子

いくたごしゃくぶし

生田五尺節(淡路市・北淡地区)

いくたたじり

いくはくるたに

発祥地は生田田尻とも、また育波黒谷ともいわれ、労働の中から生まれた唄であると伝えられています。昔、池の大改修工事が行なわれた時、粘土や石運び作業中に美声の女性労働者がいて唄を歌いだし、他の労働者もこれに励まされて作業能率がぐいに上がったといわれています。この後、疲れたときや仕事が終わってから帰路につくときなど全員で歌うようになったということです。慶安4年(1651年)室津(むろつ)八幡神社新築祝いに、めでたい祝詞(のりと)歌として披露され、以後慶事を祝う唄として受け継がれてきました。明治、大正、昭和初期までは、結婚式、初老、還暦祝い、本宅棟上等の席に、謡曲と五尺節は儀式歌としてこれを歌わなければ宴会が終わらないといわれてきました。宴会の末広がり行事として終わる前に大肴(おおざかな)と大杯を出し、謡曲を歌い、酒を入れ、謡曲が終わると、かぐ太鼓、三味



【問合先】生田五尺節保存会

代表 山本市郎さん 0799-84-0631

線入りでにぎやかに五尺節を歌ったのです。まず、施主方より『常にや飲まいでもこの度一つ、お客ごちそうに盛る酒を』と、どの宴会でも施主の歌詞は同じで、その返しに来客から、結婚式では『うれしめでたや若松様は、枝も栄えて葉も繁る』初老還暦祝いには、『お前百までわしゃ九十九まで、共に白髪の生えるまで』また、本宅棟上には『ここのお家の大黒様は、こがね花咲く金なる』と歌われてきました。五尺節は上記慶事以外には歌うことを禁じられ、厳しく守られてきました。最近では、生田小学校新築落成祝賀行事に保存会員と全児童とで五尺踊りが披露され、地域の特色を出したすばらしいものでした。

ごしゃくぶし

五尺節

- 常にや飲まいでも 此度ひとつ
お客ごちそうに もる酒を
- うれしめでたの 若松様は
枝も栄えて 葉も茂る
- お前 百まで わしゃ九十九まで
共に白髪の 生えるまで

- ここのお家の 大黒柱
黄金花咲く 金が成る
- 旦那大黒 おかかは恵比寿
できたその子が 福の神
- めでためでたや 数重なりて
鶴は御門に 巢をかける
- 鶴は御門に 巢をかけなすりや
亀はお庭で 舞を舞う

- ここのお背度にや おみようがや路が
おみようがめでたし
ふきはんじょう
- ここ座敷は めでたい座敷
鶴と亀とが 舞い遊ぶ
- 歌いなされよ どなたによらず
歌でござ量はさがりやせぬ

取材：応援隊 高田佳世子

淡路市長沢 生穂第二小学校 和太鼓クラブ



生穂第二小学校は、全校生徒10名の小さな小学校。このわずかな全校生で何か出来る事はないか？と始まったのが「和太鼓クラブ」です。週に一度の練習は授業の一環として行われ、年間に二演目を練習し 地元の春祭りや運動会などの学校行事で発表しています。指導は先生方職員全員で行われ、また子ども達同士でも経験のある上級生が下級生へと互いに教え合う、そんな中から演奏での「あ・うん」の呼吸も自然と出来上がっていくのだそうです。

クラブ創部18年目を迎えた今年の運動会では、「勇駒（いさみごま）」という伝統的な諏訪太鼓の演目の中に、子ども達みんなで考えた「太鼓」をテーマにした歌詞を 太鼓の音でリズムを取りながらみんなで歌う部分がアレンジがされるという新しい試みもされました。

先生方、生徒一丸となって作り上げている和太鼓クラブは、郷土芸能として根付き、今や地元の人たちにとっても大切なものとなっています。

取材：応援隊 福谷寿美

健康を支える栄養学一病は無知から

淡路食文化研究会 坂本和子

8月26日（金）淡路文化会館において、予防医学研究家（医師）佐藤和子先生の理論を実践し活動されている、日垣数子先生に御講演頂き調理実習を行いました。毎年一度来て頂きお話を伺っておりますが、今回は「心も体もすこやかに育てるために、正しい食生活を実践しましょう。」をテーマに子どもの生活の為のお話を中心に聞かせていただき、香川県の中学校で（佐藤先生に共感された）養護教諭が実践されたビデオを見せていただきました。子ども達が次第に落ち着きを取り戻し授業に集中していく姿に感動いたしました。

【問合せ：坂本 090-2062-1224】

【メニュー】

1. なすとトマトと豚肉のスパゲティ
2. かつおタタキのサラダ
3. 小松菜と素干し桜えびのスープ
4. 豆乳プリン



健康体であるための4つの基本

目標を持とう！

子ども用

早寝早起きで睡眠時間9～10時間を確保しましょう！

（よく眠る子は成長ホルモンの分泌が盛んになり、身長を伸ばしたり筋肉を増やしたり、考える力も伸ばします。生命にとって眠ることはとても重要です。）

毎食赤群・青群・黄群を組み合わせ均等に食べましょう！

特に生命を支えてくれる季節の赤群・青群をしっかり食べましょう。

食事の時刻 朝食・・・7時までに、昼食12時頃、夕食・・・6時頃

適度な運動とこまめに体を使いましょう。

新しい組織をつくる	魚、肉、卵、豆、乳	【赤 群】 タンパク質 ミネラル ビタミン
	野菜、果物、海藻、きのこ	【青 群】 ビタミンA ミネラル 食物繊維
	穀類、油脂、豆乳	【黄 群】 炭水化物 脂 質

取材：応援隊 小田美根子



淡路青少年交流サロン「スマイル」のメンバーとなって二年目を迎え、今年リーダーという役目を引き受けることになりました。

去る8月20日、リーダーとして初めての事業“ディキャンプ”を実施し、普段なかなか触れ合うことのない子ども達とレクリエーションやキャンプファイヤー等を行い、充実した1日を過ごしました。

自分たちが企画し、意見を出し合い、それが「私たち」になっていく。スマイルは面白い。これからも、いろんな事を実施しますのでぜひ遊びに来て下さい。

淡路青少年交流サロン「スマイル」

淡路青少年交流サロン「スマイル」については、下記の淡路青少年本部ホームページをご覧ください。

http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/s_awaji/

【問い合わせ先】 〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5 淡路県民局県民運動課内 淡路青少年本部
0799-26-2048 Eメール mori@seishonen.or.jp

子育てリレーメッセージ

子育てのお助けマンは・・・

子育てに夢をもっているお父さん、お母さんが登場！
日々の奮闘記を紹介しま～す。

淡路市 山口真智子さん

我が家は子宝の神様に好かれているのか、男ばかり4人の子どもたちがいます。上から小学4年生、1年生、保育園年少児、5ヶ月の赤ちゃんです。

この間、運動会があって主人と私の両親と共に応援に行きました。兄弟が多いと観る種目も多くてビデオ撮影也大忙し。両親たちも孫の応援に、赤ちゃんのお守りと大忙し。お弁当タイムには、どこの家庭よりも広い場所でワイワイ言いながら食べました。

いつも思うのですが、両親が元気で我が家の子育てを助けてくれるので大助かり。私は、ラッキー者です。つくづく、「人は、一人では生きていけないなあ・・・」と思います。感謝！感謝です。

子どもが4人いると家事は大変ですが、子どもたち一人ひとりが手伝ってくれるので助かることもいっぱいです。日々成長してくれる私の子どもたちにも感謝！！



あわじちびっこ フェスティバル

日 時：10月21日（金）10:00～15:00

場 所：淡路文化会館と淡路香りの公園

料 金：材料費・傷害保険料として一人¥100

対 象：島内の幼児とその保護者、子育てグループ、幼稚園・保育園などの職員及び引率者

たのしいよー！
ははタンも来るよ
はしこ車やバトカー
自バイも来るよ
みんなも来てね！

いっしょに
あそぼうね！



平成17年度 淡路地域交流

淡路伝統芸能祭

淡路島内に受け継がれている「だんじり唄」「民謡」「民踊」「獅子舞」等のステージ紹介

●特別出演 三原中学校郷土部
(淡路人形浄瑠璃)

なかがわらやっさか

- 中川原安坂祭礼団(洲本市)
- 花柳流勢友会(洲本市)
- 緑五尺踊り保存会(南あわじ市)
- 大久保踊保存会(南あわじ市)
- 西淡鳴潮(南あわじ市)
- 阿万風流大踊小踊保存会
(南あわじ市)
- 東浦大漁太鼓愛好会(淡路市)
- 一宮民踊同好会(淡路市)
- かやの
- 栢野町内会(五色町)



入場無料

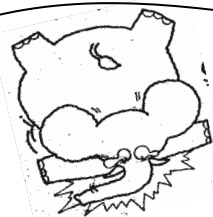
と き：11月6日（日）13:00～16:30

ところ：洲本市文化体育館 文化ホール

しばえもん座（0799-25-3321）

問合せ：県立淡路文化会館 0799-85-1391

淡路地域交流祭（伝統芸能祭）担当



くらしの相談コーナー

こまったソォ

淡路生活科学センター

0799-85-0999

Q パソコンに送られてきたメールを開いたら、「アダルトサイトの登録料3万円を3日以内に振り込むように。」という画面になりました。取り消しの返信をした方がよいのでしょうか。自分の情報が相手にどこまで知られているのか不安です。

A パソコンに届いたメールやリンクされているホームページにアクセスしただけで、「登録」「入会」になった場合、契約が成立しているとは言えず、登録料や事務手数料などの料金を支払う必要はありません。

画面に“IPアドレス”や“接続プロバイダ”“固有識別番号”などが表示されても、これらの情報から氏名や住所など個人を特定することはできません。業者に返信すると新たな情報を知らせることになるので、パソコンのメールアドレスを変更したり、着信拒否機能を使って請求メールが届かないようにし、絶対に支払わないことが大切です。



トラブルに巻き込まれないためにも、知らない相手から届いたメールを開いたり、メールに記載されているサイトにアクセスしないようにしましょう。また、不用意に個人情報を登録することは避けましょう。

淡路市立陶芸館 0799-75-2585
 ・子供陶芸教室（予約制）定員20人
 【時】毎週土曜日10:00～12:00 【料】¥300
 ・ロクロ上達講座（講師：西村裕夫）
 予約制 定員10人
 【時】10月21日（金）10:00～12:00・13:00～15:00
 11月18日（金）10:00～12:00・13:00～15:00
 【料】¥2,000（土代込み）

県立淡路景観園芸学校
 ・まちづくりガーデナーテーマコース
 （地域の歴史を知ろう）
 地域の歴史と景観とのつながりはとても深いものです。地域の歴史の学び方、生活と歴史や景観との関係などについて、実践的に学びます。また、郷土の歴史やそれらの情報発信についても学びます。
 【時】11月28日（月）、29日（火）9:15～16:15
 2月20日（月）、21日（火）9:15～16:15
 計4日間
 【所】県立淡路景観園芸学校
 【料】受講料¥8,500 傷害保険料¥800
 【定員】30名 【申込締切】11月7日（月）まで
 ・まちづくりガーデナーテーマコース
 （竹林の維持管理手法の習得）
 竹林は、身近な里山の要素であると同時に貴重な資源です。この講座では、竹林の生態を学び、試験管理の実践を行ないます。
 【時】11月30日（水）～12月2日（金）9:15～16:15
 【所】県立淡路景観園芸学校
 【料】受講料¥8,500 傷害保険料¥400
 【定員】20名 【申込締切】11月9日（水）まで
 【問】県立淡路景観園芸学校普及指導課
 0799-82-3455

・第17回わくわく科学教室
 楽しいことが好き、実験が好き、理科が好き、ものづくりが好きなみんな、一度来てみませんか。
 【時】11月5日（土）9:00～14:00
 【所】淡路市立佐野小学校
 【料】材料費¥1,000 【対象・定員】小学生30人
 【問】〒656-2224 淡路市大谷1172-2
 プロフランスC-201 安積知里
 0799-60-4121
 【主催】淡路島くにうみ仮説サークル

・北淡震災記念公園レトロカーフェスタ
 昭和車大集合！車両展示・スワップミート（フリーマーケット）・ビンゴゲーム。人気投票等
 【時】11月6日（日）10:00～15:00
 【所】北淡震災記念公園第2駐車場、臨時駐車場
 【料】無料
 【問】北淡震災記念公園 0799-82-3020

【時】開催日時【所】場所【料】料金【問】問合せ先

しづかホール 0799-62-2001
 ・長沢アートパーク作品展 入場無料
 【時】10月15日（土）～23日（日）
 9:00～17:00
 ・長沢アートパーク作品オークション 入場無料
 【時】10月23日（日）13:00～17:00
 【問】淡路市津名総合事務所地域教育課
 0799-62-0001
 ・淡路市・五色町中学校総合文化祭音楽部門発表会
 【時】10月26日（水）12:00～ 【料】無料
 【問】淡路市・五色町中学校音楽部門会
 東浦中学校内 0799-74-4113
 ・第29回兵庫県高等学校総合文化祭 開会式
 【時】10月28日（金）12:00～ 【料】無料
 【問】県教委高校教育課 078-362-3778
 ・第48回淡路地区高等学校連合音楽会
 【時】11月3日（水）13:00～ 【料】無料
 【問】津名高校 0799-62-0071
 ・津名中学校文化発表会
 【時】11月10日（木）9:00～ 【料】無料
 【問】津名中学校 0799-64-0521
 ・淡路市子育て学習センター合同行事
 「人形劇鑑賞」
 【時】11月11日（金）10:30～ 【料】無料
 【問】淡路市津名総合事務所地域教育課
 0799-62-0001
 ・第29回兵庫県高等学校総合文化祭
 吹奏楽部門演奏会
 【時】11月12日（土）時間未定 【料】無料
 【問】津名高校宮下 0799-62-0071
 ・第29回兵庫県高等学校総合文化祭
 器楽・管弦楽部門演奏会
 【時】11月20日（日）12:00～ 【料】無料
 【問】津名高校田中 0799-62-0071
 ・年末調整説明会
 【時】11月24日（木）13:30～ 【料】無料
 【問】社）淡路納税協会 0799-22-1322
 洲本税務署 0799-24-1590
 ・兵庫県学校厚生会2005文化祭
 （講演会、バレエ公演、プラスバンド演奏、シャンソン等）
 【時】11月26日（土）13:00～ 【料】¥500
 【問】学校厚生会淡路支部 0799-62-4568

サンシャインホール
 ・サンシャインシネマ50 亡国のイージス
 【時】10月15日（土）14:00 18:30
 【料】前売 一般¥1,000 学生以下・70歳以上
 身障療育手帳所持者¥500
 当日 一般¥1,200 学生以下・70歳以上
 身障療育手帳所持者¥700
 【問】サンシャインホール 0799-74-0250

《地域創造市民塾》 ～開催のお知らせ(募集中)～

地域創造市民塾は、「自分達が学んだことを広く伝えたい」「こんなテーマについて学習会をしたい」そんな熱意を持った県民の皆さんが、淡路文化会館との共催(後援)により自ら企画し運営する「講座」です。

NO.	日 時	講 座 名 師	会 場	参加費	申込について	その他
1	10月13日 (木) 13:30～ 15:30	デジタルカメラの基礎知識と撮影テクニック 速形重行 氏 (サンテレビ報道部カメラマン)	淡路文化会館視聴覚教室	500円	10月8日(土)までに 淡路市尾崎927 サザンカPC教室 代表 熊野悦萬 0799-85-0036	デジタルカメラをご持参ください。 (定員40名)
2	10月26日 (水) 12:30～ 13:30	豊かな地域の創造～ゴミ問題と環境～ 洲本市職員	洲本市総合福祉会館	無料	海老一吉 0799-23-1216	洲本市のゴミの現状と洲本市の新たな取り組みの説明

10月～11月のギャラリーインフォメーション



兵庫県立淡路文化会館 展示室・県民ギャラリー 無料

- ・淡路日本画セミナー「三美会」色紙展
- ・兵庫県学ぶ高齢者のつどい淡路ブロック大会作品展
- ・第10回スケッチ淡路100景展
- ・広田光哉作品展
- ・県政資料収蔵資料の展示
- ・第17回いざなぎの丘写生大会作品

10月 4日(火)～10月13日(木)
10月15日(土)～10月19日(水)
10月21日(金)～11月 3日(木)
10月21日(金)～11月 3日(木)
11月5日(土)～11月20日(日)
11月22日(火)～12月4日(日)

市民交流センター アールギャラリー 無料

- ・洲本フォトサークル写真展
- ・淡路島の小さな巨匠達展

10月1日(土)～10月30日(日)
11月9日(水)～11月29日(火)

サンシャインホール 無料

- ・MOA美術館児童作品展

10月19日(水)～10月23日(日)

北淡震災記念公園セミナーハウス

- ・北淡だんじり写真展

10月15日(土)～11月6日(日)

兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

入館料 大人¥600 高校生¥360 中学生¥300 小学生¥180

- ・秋色ガーデン
アートとコラボレーションする未来の庭
- ・花のマジックチルドレンズガーデン

開催中 ～11月13日(日)

開催中 ～11月27日(日)

不思議の庭へおいでよ

- ・秋の和の庭

開催中

編集だより

1ヶ月がアッという間です。月初めには20名の応援隊の手によって「ポケットあわじ」最新号を一斉配布、このときばかりは、いりいり氏(コーディネーター)もホッ!。それも束の間、次号の編集をスタート、私たち応援隊も忙しい毎日ですが、地域で親しんでもらえるよう更なる紙面充実に向けて共にがんばっています。

淡路生活創造応援隊 松上節子

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。お気軽に!

(発行) 淡路生活創造応援隊
県立淡路文化会館・県立淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL0799-85-1391
FAX0799-85-0400
E-mail: awaji-ch@theia.ocn.ne.jp